

熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めています。ちかみらい通信は、熊本市のホームページやLINEでも公開しています。パソコンやスマートフォンで是非ご覧ください!

二次元コードからHPをご覧ください



1. 現在施工している遮水鋼矢板の設置について

地下水水位低下工法では、地下水の区域内への流入を抑制するため、遮水鋼矢板を道路に設置しています。遮水鋼矢板の施工方法は、騒音と振動が低減できる「**圧入工法**」を用います。遮水鋼矢板は、道路が狭く施工機械の運搬が難しい場所や電柱や上下水道管、ガス管などの埋設管との間隔を取りながらの施工など多くの制約があります。周辺住民の方には、ご不便をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。



① 圧入開始

クレーンを使用して、遮水鋼矢板を施工機械にセットします。1枚の長さは6～12m程度です。電線がある場合などは、分割し、圧入します。



③ 圧入終了

遮水鋼矢板を地面程度まで圧入し、遮水鋼矢板1枚の作業が終了します。施工機械は、圧入した遮水鋼矢板の上を移動します。



② 圧入中

遮水鋼矢板の圧入位置を確認後、少しずつ圧入していきます。条件によりませんが、1日で10枚程度圧入します。



④ 設置完了

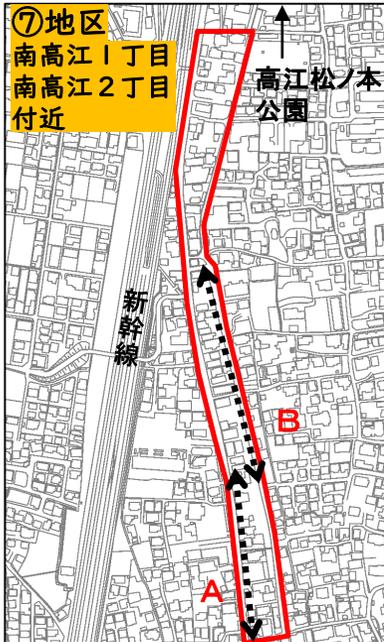
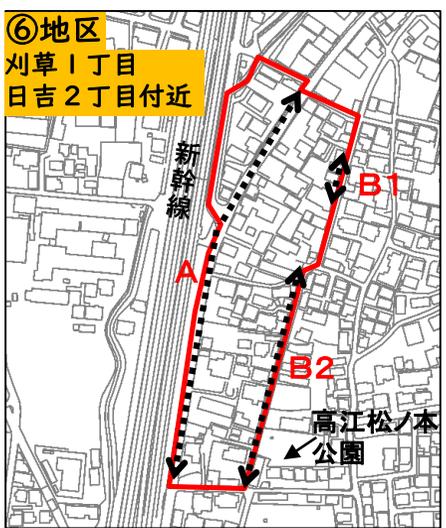
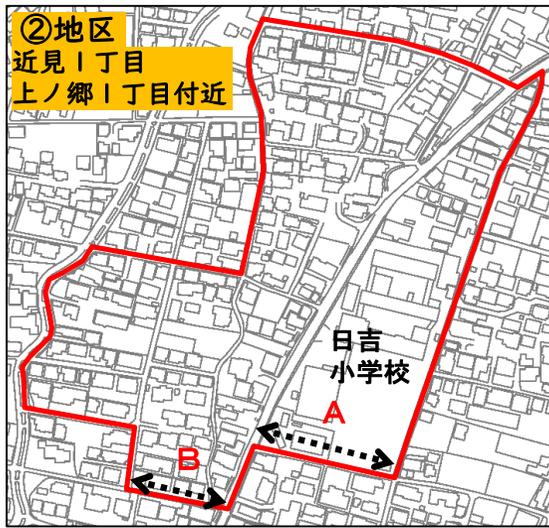
所定の枚数をすべて圧入後、遮水鋼矢板の頭部を切断、周辺を埋戻し、舗装を行います。

液状化対策区域の進捗状況

裏面にもお知らせがあります!

2.地下水位低下工法による交通規制(予定)について(令和3年2月)

現在、①、②、⑥、⑦の4つの地区で工事を実施しているため、多くの交通規制が行われています。今後の交通渋滞緩和のために、事前に令和3年2月の交通規制の予定についてお知らせします。周辺にお住まいの方には、詳しい交通規制の工事用チラシを適宜、施工業者より配布します。



【交通規制について(破線両矢印の箇所)】

<①地区>
A片側交互通行(昼間)
 遮水鋼矢板設置
B車両通行止め(24時間)
 遮水鋼矢板設置

<②地区>
A車両通行止め(昼間)
 遮水鋼矢板設置
B車両通行止め(24時間)
 遮水鋼矢板設置

<⑥地区>
A片側交互通行(昼間)
 集水管設置
車両通行止め(24時間)
 B1集水井戸
 B2集水管設置

<⑦地区>
A片側交互通行(24時間)
 遮水鋼矢板設置
B車両通行止め(24時間)
 遮水鋼矢板設置
 (南側一部下水道工事)

※天候等の諸事情によって、施工箇所や施工時期が変わることがあります。※一部夜間工事を実施する場合があります。

熊本市公式LINE

ぜひ、熊本市公式LINEの友だち登録をお願いいたします! LINEアプリの「友だち追加」→「QRコード」で右の二次元コードを撮影し、ご登録ください。ちかみらい通信は「日吉校区」、「力合校区」、「城南校区」のいずれかを選択すると受信できます。



対策工事を進め、液状化に強いまちを目指してまいります。引き続きご理解、ご協力をお願いします。

